

事業所名		キララこども園（保育所等訪問支援）				公表日 2025/3/1	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	課題や改善すべき点	
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・訪問先施設・対象児童に合わせて、訪問先施設の先生と相談しながら使用している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・資格を有する者が訪問している。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・必要に応じて、その都度児発・放デイ職員、児発管や相談支援専門員等とも話し合いを行っている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・今回が初めての自己評価なので、結果をもとに業務改善を行っていきたい。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・今回が初めての自己評価なので、結果をもとに業務改善を行っていきたい。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現在、行っていない。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部の研修や法人内での研修に積極的に参加している。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・事前に打ち合わせ等行い、訪問先施設の意向や方針等を確認している。 ・保護者の考えと訪問先施設の意向とにずれが生じた場合には話し合いの場を設ける等して、対象児にとってよりよい支援になるようにしたい。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・児童発達管理責任者と訪問支援員で計画を共有し、支援に臨んでいる。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・行動観察や周囲の大人（保護者、相談支援専門員、児発や放デイ職員、訪問先施設職員等）への聞き取りが中心になることが多い。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・活動内容や訪問先施設の意向等は児童発達管理責任者等と共有し、支援にあたっている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・記録を作成するとともに、児童発達管理責任者等に気づいた点や課題等を共有している。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・訪問先施設の方針は事前の打ち合わせで把握しきれないことも多いので、その都度確認しながら支援を行っている。		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・毎回の訪問記録を作成し、次の訪問支援に活かせるようにしている。		
関係機関や保護者	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・どのようなことが課題であるかは訪問先の意向が中心になっていることは多い。 ・保護者の意向の確認する機会を増やしていきたい。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達管理責任者や訪問支援員が参加し、現状や方向性を伝えている。		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて関係機関と連絡をとっている。		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・訪問支援員が就学先に情報共有を行うことはほぼない。 ・訪問先施設やこども園に支援内容を伝え、就学先に共有している。		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・外部の研修に参加している。		

こ と の 連 携	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・児童発達管理責任者やスタッフが参加している。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・家庭によって頻度や報告方法が異なるが、状況や課題を共有できるよう努めている。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・事業所では行っている。
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・児発管が行っている。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・児童発達管理責任者や相談支援専門員、訪問支援員が訪問し、理解を得られるよう説明を行っている。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・面談や相談支援専門員と情報交換を行い、こどもや保護者の希望や意向を確認し、計画に盛り込んでいる。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしている		○	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・児発・放デイ職員、児童発達管理責任者や相談支援専門員等、事業所内で関係職員と相談し、対応している。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・事業所のHPがあり、こども園では月に1回園だよりを発行している。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・児童票、訪問記録等はファイルに入れて鍵付きの棚で管理している。
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・こどもや保護者の思いを受容した上で、内容によっては具体例等を出しながら分かりやすく伝えている。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・内容によっては関係機関や相談支援専門員と連携し、助言等を行っている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・訪問先施設の状況に合わせてカンファレンスや情報共有を行っている。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・各家庭に合わせて、支援内容の報告を行っている。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・情報の使用等については随時ご家族に確認をとっている。
非 常 時 等 の 対 応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・対象児や訪問先施設に合わせた助言になるよう心掛けている。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・事業所で作成している。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・事業所で作成している。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事案があった場合は児のかかわる事業所で共有し、再発防止に努めている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・事業所内や外部の研修等で適切な対応について学ぶ機会を設けている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	・現在、行っていない。